

セルフチェックシート

当てはまる項目に をしてください。

夜 こんなことはありませんか？

- いびきをいつもかいている
- 睡眠中に呼吸が止まっていると指摘されたことがある
- 苦しくて目が覚める
- 夜トイレに何度も起きてしまう
- 口がよく渴く
- 胸焼けがする

昼 こんなことはありませんか？

- いつも眠い、居眠りをしてしまう
- だるい、疲れる
- 仕事に集中できない

病気 で困っていませんか？

- 高血圧なのに薬がよく効かない
- 心臓の病気がある
- 肥満や糖尿病である

夜の項目でチェックが2つ以上あり、昼の項目、あるいは病気の項目にも該当するなら**睡眠時無呼吸症候群**が疑われます。

赤羽中央総合病院附属クリニックへのアクセス

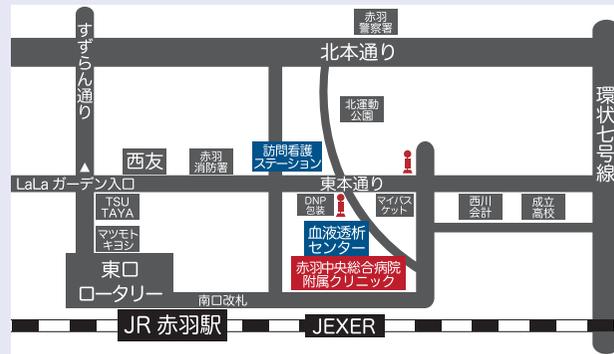


【埼京線を利用】

「池袋」駅より 8分
「新宿」駅より14分
「渋谷」駅より19分

【京浜東北線を利用】

「川口」駅より 4分
「上野」駅より14分



【電車でお越しの方】
JR 赤羽駅下車南口改札を出て徒歩4分

【バスでお越しの方】
国際興業バス「赤羽南二丁目」下車2分

【お車・徒歩でお越しの方】
環七平和橋交差点を赤羽方面へ三恵ボウル角を左折



〒115-0044 東京都北区赤羽南 2-10-13
TEL.03-3902-1555(代) FAX.03-3902-1552

赤羽中央総合病院附属クリニック

検索

<http://www.hakueikai.or.jp/akabane-cl>

睡眠時無呼吸症候群 Sleep Apnea Syndrome

あなたの「いびき」本当に大丈夫ですか？

医療法人社団博栄会
HMG
赤羽中央総合病院
附属クリニック

睡眠センター / 2F



◀ 日中の眠気



大きないびき ▶

このような症状は ありませんか？



◀ 起床時の頭痛



熟睡感がない ▶

睡眠時無呼吸症候群とは？

睡眠時無呼吸症候群 (SAS : Sleep Apnea Syndrome) とは、睡眠中に 10 秒以上の呼吸停止が 5 回以上繰り返される病気です。主に、いびきや日中の眠気、熟睡感がない、起床時の頭痛などの症状があります。

また、SAS は下記のような生活習慣病と密接に関係しており、放置すると生命の危機に及ぶこともあります。

SAS 特有の眠気は交通事故を起こす危険もあり、早期に適切な治療をすることが大切です。

～SAS に関わる生活習慣病～



PSG (ポリソムノグラフィ) 検査

PSG 検査は SAS 検査の中で最も精密な検査方法であり、クリニックの睡眠センターで 1 晩就寝いただき、脳波や筋電図、胸部の動き、血中酸素量等を調べます。睡眠中の呼吸状態や脳波を詳しく解析し、その後の治療方法を検討します。

多くのセンサーを取り付けますが、痛みはありません。また夕方から翌朝まで 1 泊の入院ですので、お仕事を休まず検査を受けることができます。

CPAP 治療

CPAP 療法は鼻に装着したマスクから空気を気道へ送りこむことによって空気の通り道を塞がないようにし、無呼吸を取り除く療法です。

いまや睡眠時無呼吸症候群 (SAS) を予防するのに最も重要な治療法となっています。当院の呼吸器内科で専門医が診療に当たります。

